

## セミナー-“University Globalization Towards

### Better Quality University Education and Graduates”

開催日：10月22日（火）10：30～17：50（講演）（18：00～19：30 懇親会）

開催場所：東北大学片平キャンパス さくらホール

（地図）<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/general/access/sakura-j.html>

主催：2013年度通研共同プロジェクト研究会及び東北大学高等教育開発推進センター

使用言語：英語(日本語の質問を受け付けます)

〈内容〉「大学の国際化」をタイトルにした第一回目のセミナーは、2年前に始まり、現在の日本の教育制度と雇用制度をアジア、北米、ヨーロッパの諸外国と比較する事により、日本衰退の真の原因を探り、幾つかの原因を明らかにしてきました。このセミナーは、日本衰退の真の原因をさらに探ると同時に、「日本の大学を卒業した日本人の弱い日本語 Writing」に焦点を当てます。後者は、特に社会人としての基本であるコミュニケーション力、自己表現力の弱さにつながり、日本の国際化のために早急な改善が必要と思われます。今回のセミナーは2部構成となり、一部では、この問題点である弱い自己表現力とコミュニケーション力の解決策を見出すため、ライティングスキルに着目し、日本の大学及び高等学校レベルまで掘り下げて、イギリス、その他諸外国のライティングスキルと比較しながら、グローバル人材が身につけるべきライティングスキルについて考えることを目的としています。二部では、教育現場である大学のグローバル化について、ドイツ、そして既に改革を行ったシンガポールのナンヤンテクノロジー大学から講演者を招き、大学のグローバル化について海外と比較を行い、日本の大学のグローバル化を質の面から考えます。また、日本で先進的に行われている良い事例、「グローバルに通じるエンジニアの育成」、「インターナショナル リベラルアーツ教育の推進」そして「誇れるスキルのある大学院生の育成」について発表いただきます。さらにパネルディスカッションでは参加者の皆様と一緒にこれらご発表いただいた内容について議論を深めていきたいと思っております。年齢・性別・国籍・職種を問わず、グローバルな視点から現在の日本を改善していきたいという思いのある方々のご参加をお待ちしております。

（一部）

講演1：Ms. Atsuko Kawana（仙台第二高等学校）

講演2：Prof. Kyoko Oi（千葉大学 教育学部）

講演3：Prof. Ben Shearon（東北大学高等教育開発推進センター）

（二部）

講演4：Prof. Kiat Seng Yeo（シンガポール ナンヤンテクノロジー大学）

講演5：Prof. Masakatsu Matsuishi（金沢工業大学）

講演6：Prof. Marcin J.Schroeder（秋田 国際教養大学）

講演7：Prof. Holger Finken（ドイツ学術交流会）

講演8：Prof. Mr. Takashi Kamiya（高度情報通信人材育成支援センター）

講演9：Prof. Shuzo Kato（東北大学電気通信研究所）

討論会：総合司会 加藤 修三

参加費：無料（懇親会参加の方のみ懇親会費として一般1,000円、学生500円を頂戴致します）

参加申込・問い合わせ先：東北大学電気通信研究所 加藤研究室（相澤なお実）

[TEL:022-217-5477](tel:022-217-5477), [FAX:022-217-5476](tel:022-217-5476) Email: [katolab@riec.tohoku.ac.jp](mailto:katolab@riec.tohoku.ac.jp)